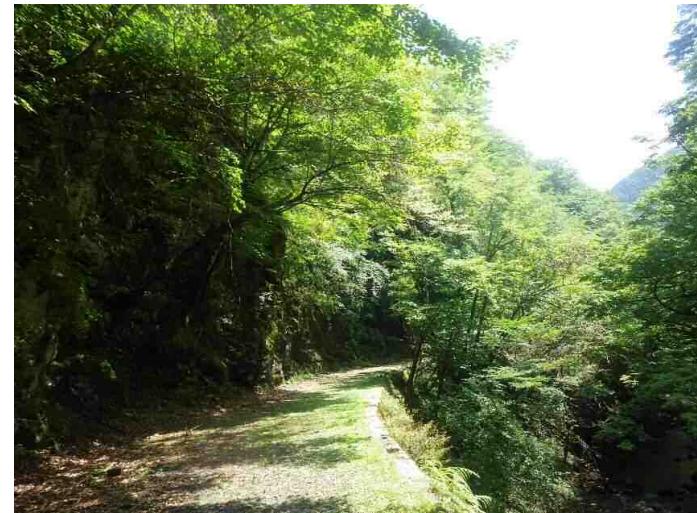


北股暖地性昆虫生息地希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	近畿中国森林管理局・奈良森林管理事務所
所在地・面積	奈良県吉野郡川上村 ・ 122.59ha
設定年	平成5年4月1日設定、平成30年4月1日再編に伴う名称変更及び管理方針書設定
保護林の概要	<p>当該区域は、北股川源流部に位置し、ブナや照葉樹がまとまって生育する貴重な天然林である。また、紀伊半島が分布の東限となっている希少種が生育していたり、南日本固有の植物相が残されている地域であることから、学術的にも貴重な地域となっている。</p> <p>森林植生は、ウラジログシ群落の成熟林の他、シラキ-ブナ群集やアカシデ-イヌシデ群落等で形成されている。ウラジログシの他、サワグルミやフサザクラ等の渓谷の種が生育している。</p>

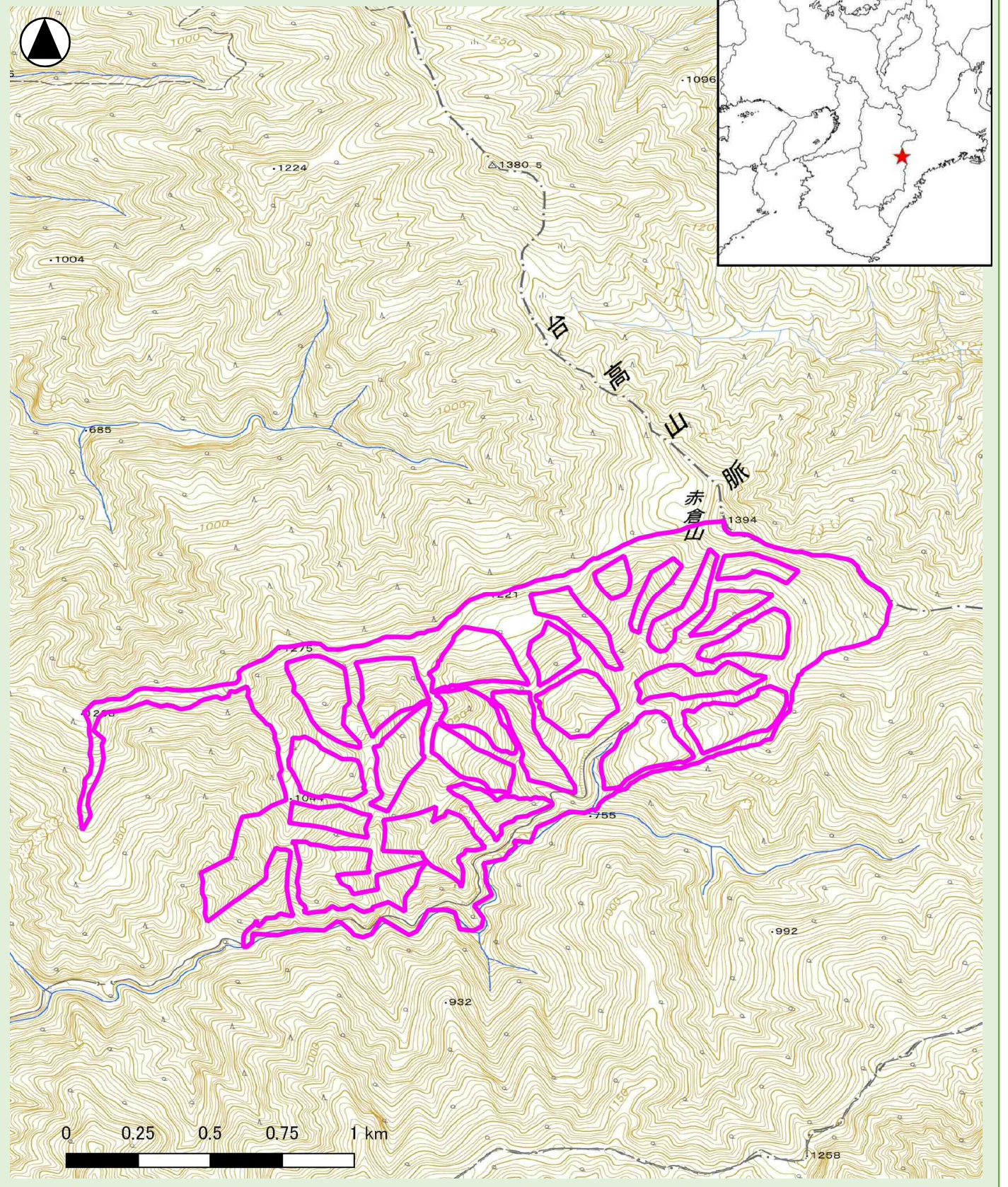


モニタリング調査の概要

実施年度	令和4年度
調査項目	森林タイプの分布等調査、樹木の生育状況調査、下層植生の生育状況調査、山火事等災害発生状況調査、病虫獣害・気象害発生状況調査、保護対象種生息状況調査（食草調査）、利活用実態調査、管理体制実態調査

結果概要	<p>保護対象種と食草は確認されなかった。また、食草の着生木となるツクバネガシは4本確認された。「ならむしの会」が当該保護林内で保護活動を実施している。</p> <p>今回調査したウラジログシ群落の森林において、現状において原生的な天然林が維持されているが、下層植生にニホンジカによる食害の影響が見られた。保護林内の下層植生が貧弱となり、不嗜好性植物が優占している場所が確認される等、群落の維持・更新への影響が懸念される。</p> <p>これらのことから、長期的な視点のもと、現状の天然林を保護することで保護対象種の食草の生育環境の維持に努める地域と判断される。また、当該保護林はニホンジカによる森林被害が顕在化している地域と判断される。</p>
------	---

北股暖地性昆虫生息地希少個体群保護林 位置図



保護林内での注意事項

- ★貴重な植物群落の保護にご協力ください。
- ★植生の荒廃防止のため、歩道を外れて歩かないでください。
- ★許可なく動植物の捕獲及び採取をしないでください。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。